



NPO PTPL “ともいき” 便り No.171

令和元年（2019年）5月21日発行

■小満（しょうまん） 令和元年5月21日から6月5日までの節気

先日玄関を出たとたん、白いタイルに太陽が反射して強い光が目に飛び込んできてびっくりしてしまいました。二十四節気は、5月21日から「小満」に入ります。山野が緑に満ち溢れ、麦刈りの頃です。

私が講師で行っている短大のグラウンドの周りに、今シロツメクサがたくさん咲いています。白い花が初夏の光と風の中で揺れている様子は、楽しげで気持ち弾んできます。子どものころ、シロツメクサを摘んで首飾りにしたり、友だちと長くつなげて縄跳びの縄にして遊びました。「ツメクサ」という名前がついたのは、江戸時代にオランダから送ってきた荷物のパッキングに使われていた枯れ草のタネが、日本に根付いたからだそうです。「詰め草」だったのですね。グラウンドには、ナズナやカラスノエンドウも生えています。まさに「小満」。緑に満ち溢れています。

「小満」の七十二侯の一つに“麦秋至る”があります。6月1日から5日までの5日間です。私が今住んでいるところは、父が家を建てる前は一面麦畑だったそうです。65年前のこの季節、黄金色の麦の穂がゆさゆさ揺れていたのかと思うと不思議な気持ちになります。関東地方では昔は秋に麦をまいて、春、そだった麦と麦のあいだにスイカやかんぴょうを植えたりしたそうです。こうすると、麦が風よけになってスイカやかんぴょうの苗が良く育ち、麦を収穫したあとの麦わらを敷き藁にすると、そのわらが土にかえり、よい土にしてくれるのだそうです。麦と野菜、どちらにも嬉しいアイデア、というか人の知恵ですね。そして、麦わらといえば麦わら帽子。今年も暑くなりそうですから、私の麦わら帽子の出番も多くなりそうです。

この時季、田植えも盛んに行われます。6歳の孫も保育園で田植えに行くそうです。初めての体験。どんな風に報告してくれるのか楽しみです。広島県の北

広島町では、毎年6月の第一日曜日に世界無形文化遺産「壬生の花田植え」が行われます。今年は6月4日です。豊作を願って「田の神様」をまつり、農作業の苦労をなぐさめようといわれてきた稲作儀礼です。昔、牛は農耕で大きな役割を果たしました。北広島市のホームページによると、祭り当日、牛は「赤・青・緑・黄の布を掛け兜や龍を象った金欄豪華な花鞍を装着され、首玉と呼ばれる赤い布袋に綿を入れた飾りをつけて」商店街を道行き（行列）して会場に向かいます。「飾り牛」と呼ばれる牛が十頭以上も道行きする様子は美しくすごい迫力だと思います。先頭の牛を「主牛（おもうじ）」といい、この役を務めることは大変名誉なことだそうです。牛と人が共に暮らしていた時の牛に対する感謝と労いがこの「飾り牛」に脈打っているように感じます。田んぼでは太鼓や笛の音に合わせて、緋の着物に豆絞りの手ぬぐい、菅笠をかぶった姿の早乙女達が田植えをします。「飾り牛」「早乙女」の様子が華やかで美しいことから「花田植え」と呼ばれるようになったそうです。この祭りの総指揮をとるのは三拝（サンバイ）と呼ばれ、「田の神様」の役柄だそうです。ササラと呼ばれる打楽器を打ち鳴らしながら、数百もある田植え唄を歌って花田植えの指揮をとります。五穀豊穰を田の神様に願うお祭り。時代は変わってもずっとずっと続いていきますように。

ともいきだよりも時々登場する我が家の老犬、柴犬まる（18歳）ですが、支えないと歩けないので抱っこ散歩で草のにおいや土の感触を感じさせています。これから紫陽花が咲くのが楽しみです。小満の節気、5月27日（月）が下弦の月です。季節の変わり目です。みなさま、くれぐれもご自愛ください。

すとう あさえ（NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 会員）

■ともいき・ともうみ・ともさち、そして和。それは日本的なるもの「ジャパネスク」

●初夏の季節

春が極まり、夏の季節が萌してくる季節です。透き通った光の中、木々の葉は薄緑から鮮やかな緑へと変わっていきます。初夏の季節といえるでしょう。青葉若葉の清々しい匂いが感じられます。

5月1日より「令和」に改元され、その騒ぎたるや……。

今はひと段落し、少し落ち着いて「令和」について考えるようになりました。

国は「令和」を「美しい調和」とし、諸外国にも「Beautiful Harmony」と訴えています。

NPO PTPL では満月の日を「ともいきの日」と提唱しています。

「ともいきの日」は、人と人、人と自然が共に生きる「美しい調和」の日といえるでしょう。

NPO PTPL が提唱するジャパネスクの精神をもう一度強く取り戻し、世界へ訴え、理解してもらうことが必要です。

ジャパネスクは、いま混乱している世界において、世界的な普遍性を持つ次世代の価値観ではないかと思えるのです。

皆さんのお考えはいかがですか？

ご意見お待ちしております。

●入梅」「出梅」

日本は北から南まで約 3300Km の細長い島国です。

気象の上での「入梅」は地域によって差があり、年によって早い遅いがあります。しかし、おおよその時季を知らせるため暦の上で、雑節の中に「入梅」が設けられています。雑節としての「入梅」は6月11日（火）です。

奄美諸島はすでに入梅、沖縄地方はすでに入梅に入りました。

雑節の「入梅」は東海、関東地方の梅雨入りにほぼ合っています。従って全国の平均値だと思えば暦の上の「入梅」も雑節として記載されている意味があるのでしょうか。

「入梅」があるのだから「出梅」もありました。

今は暦の雑節に「出梅」は記載されていませんが太陽の黄経〇度と決めて記載したほうが良いのではないのでしょうか？

一日一回、「ともいき暦」を！！

日本 2019 ジャパネスク

日本の歴史を学ぼう。

「もっと知りたい。これが日本、これも日本。」

勝田 祥三 (NPO PTPL 理事長)

■事務局便り

- 10 連休という大型連休も終わりましたが、皆さんはどのようにお過ごしでしたか？

連日初夏を思わせる陽気で、日向は暑いぐらいですが、ちょっと木陰に入ったり、夕方になるとさわやかな風が感じられる今日この頃です。

- 日本というものを基盤において活動する NPO PTPL が企画制作運営するサイト・FB をご覧ください。

「NPO PTPL 公式ホームページ」 : <http://www.plantatree.gr.jp/>

「ジャパネスク」 : <http://www.japanesque.tokyo/>

「ともいき暦」 : <http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/>

「タピラス」 : <http://www.tapirus.tv/>

「ともいき ぐらし」 : <https://www.facebook.com/tomoikigurashi>

「おらが富士 計画 ふるさと富士山探し」

<https://www.facebook.com/oragafuji/>

「不思議・驚き・魅力のジャパネスク」

<https://www.facebook.com/japanesque.tokyo/>

- 会員募集のご案内

NPO 活動（ジャパネスク運動）を推進していくためには、多くの皆さま方のご支援・ご協力が不可欠です。

NPO PTPL では、常時、個人会員と法人会員を募集しています。この便りをお読みの方で、ご本人またはお知り合いの方々にご案内いただければ幸いです。お力添えのほど、どうぞよろしくお願ひします。

詳しくは下記まで、メールまたはお電話・FAX にてお尋ねください。

NPO PLANT A TREE PALNT LOVE 事務局

〒141-0022 東京都品川区東五反田 2-7-11 東都ビル 201 号

電話 : 03-6432-5911 FAX : 03-6432-5912 Email : info@ptpl.or.jp